

企業組合 フェニックス



八幡浜市

廃食油のリサイクル (バイオディーゼル燃料) 事業

1 事業内容

八幡浜特産「じゃこ天」の使用済み天ぷら油をバイオディーゼル燃料に転換、製造、販売を行う循環型エコノミー事業に取り組む。

2 事業背景

愛媛県八幡浜市は「かまぼこ」に代表される水産練り製品の製造が盛んで、“じゃこ天”製造業者が多く、製造用食用油が大量に廃棄されているが、この処理について、大手業者は松山市の廃油リサイクル事業者に、小規模事業者は地元回収業者にそれぞれ依頼している。

また、一般家庭より排出される廃油については、固形化したものと、新聞紙等で吸収したものについてのみ可燃ゴミとして回収処分を行っているのが現状である。

一方でリサイクルについては、市民団体などにより廃油石鹸づくりなどの活動が行われている程度であった。よって、廃油を回収し、バイオディーゼル燃料（BDF）に転換・



製造し、販売することで、地元で循環させる仕組みを構築することを目指し、本事業を展開することとした。

3 事業、技術、商品の特徴

バイオディーゼル燃料（BDF）精製装置を活用し、BDFに転換し、製造・販売する。出荷量は月に10千リットルの確保が可能（目標は30千リットル）。これにより、環境負荷の低減を図るとともに、各業者の廃油処理コスト・運送コスト等の問題を解決していく。

4 助成内容及び効果

導入した設備により、BDFの生産能力は倍増することとなり、安定供給体制を構築することができた。地元の廃油を地元で活用して製造されるBDFは、軽油と比べ3割程度割安で、原油高に苦しむ運送業者らの助けになり、また、二酸化炭素や硫黄酸化物の排出量も抑えられることから、財布にも地球にも優しい燃料の普及を図ることが可能となった。



また、転換製造装置の操作など一部業務は心身障害者小規模作業所に委託するなど、障害者の雇用創出にも寄与している。

5 今後の展望

将来的に回収量を増やし、月30千リットルの製造を目指している。また、より理想的な循環型社会の実現の為に新しい再資源化メニューを開発し、提供していく。

Message From Entrepreneur

今後の展望として、燃料事業に関連する新たな事業への進出と、それに伴う雇用の創出を目指したい。また、地元行政・地域との連携も模索しているところです。

企業概要

〔代表者〕 代表理事 西本 至
 〔住 所〕 八幡浜市保内町川之石6-128-1
 〔設 立〕 平成20年5月
 〔TEL〕 0894-36-0571
 〔FAX〕
 〔URL〕